

辰野駅前一丁目たい街の将来を考えよう

辰野駅前地区かわら版

第3号
2013.12

「まちづくり・まち育て講演会」開催

辰野駅前地区

まちづくりの将来像についての講演会

去る11月23日、下辰野公民館において、下辰野区の住民の皆さんを中心に約30名の参加をいただき、JR辰野駅前地区の将来像を考える「まちづくり・まち育て講演会」を開催しました。

講演の冒頭に、講師の延藤先生は、まちづくりを考えていく上で重要なことは「想像力」であると提示されました。「自分の町はもう駄目なのか、まだまだいけるのか、どちらの想像力に賭けるかが重要」と話され、まちづくりの目標設定や、地域に眠る宝に誇りを持つこと、将来像の語り場としての「ほたるの里世代間交流センター」の活用、ふるさとを再創造する住まいの確保などをポイントとして話題にあげていただきました。

また、入り組んだ細い路地、古めかしい建物など、そこに住む人たちが気づきにくい辰野駅前の魅力を、外から見た目で紹介されました。「基盤の目のようにきっちりしたものと違い、建物が語りかけてくれる街並。山々や自然など、五感をフルに活用できる中で子育てができることは素晴らしい」と評価していただき、子どもの育ちと町の育みをマッチングさせていく重要性を話されました。

参加者は、高齢化や過疎で空き家が多いことや、それに伴うコミュニティ形成の難しさ、人口増に向けた取り組みをどうしたら良いかなどを質問しました。延藤先生は「地域社会の再生には、居場所づくりが現実を変えるテコになる。その鍵がまさに世代間交流センターである」と強調されました。「学校の行き帰りの小学生が立ち寄り、お年寄りがそこで面倒をみると、『町の縁側化』することでつながりを再生することができる」と説明されました。

日時：平成25年11月23日（土）

場所：下辰野公民館

講演会：「まちづくり・まち育て講演会」



NPO法人まちの縁側育み隊代表理事 延藤安弘さん

「まち育て」の元愛知産業大大学院教授で、NPO法人まちの縁側育み隊代表理事の延藤安弘さん。延藤さんは、行政と住民とをコーディネートするさまざまなプロジェクトを手掛け、地域住民がそこに眠る文化資源を発見、それをエネルギーに地域の未来を描く「まち育て」を提案しています。



住
将
来
を
い
考
え
ま
ち
の
の
講
師
延
藤
安
弘
先
生



辰野らしい、まちづくりを！めざして！！



まちづくりの将来像を考察

講演会は2台のプロジェクターを使い、各地の実践例を延藤先生が軽快な話しぶりで紹介。参加された方々とのフリートークなどもあり、辰野駅前の街並みや建物・景観などの魅力を語り合いました。

最後にみなさんから、ご意見を聞き「住みたいまちの将来を考える」ためのキーワードとしてまとめました。



主なご意見をまとめ、これからのまちづくりキーワードをまとめました

- 楽しい活動を重ね、灰色からみづみづしい風景へ
→楽しさは持続力と想像力を育む
- つながりと仲間を育むまちの縁側づくりへ
→多世代交流センターや空き家を活かそう
- のどかさ、緑とロマンのある
ふるさと住居づくりを
- 歯又ケの様な空家を活かして
もうひとつの縁側づくりをしよう
- 今を変える20年先のビジョンと5年先のビジョン
長期と短期の計画づくりの結合
- 急がずに、長続きするうるおいの源が
アートに結びつく過程を！
- なんぎな心配を安心に、
トラブルをエネルギーに変えよう

たつのはいいな！
辰野らしい、まちづくりを！

—かわら版について—

このかわら版は、『長野県地域発元気づくり支援金活用事業』にて発行しました。詳細をお知りになりたい方は事務局までご連絡ください。

事務局： 辰野町役場 建設水道課
担当： 上島
住所： 〒399-0493 上伊那郡辰野町中央1番地
電話： 0266-41-1111 (代)
F A X： 0266-41-4651